

子供たちとアカハライモリのお引越しを行いました。

～中部横断自動車道 環境保全活動について～

中部横断自動車道予定地内に環境省のレッドデータで準絶滅危惧種に指定されているアカハライモリの生息池が確認されました。そのため、生息環境の保全を目的とした代替池の整備を進めてきましたが、この度、整備が完了したことから、9月28日に南部町立睦合小学校の子供たち13名と一緒にアカハライモリの引越し（移し替え）を行いました。

子供たちは、やまなし淡水生物研究会の会員らの指導を受けながら、水が抜かれた池に入り、網を使って約250匹を捕まえ、代替池へ運び放流を行いました。また、池に生息する生き物観察会、池に設置する環境保全の看板製作などを行いました。

今回の取り組みを通じて、参加して頂いた子供たち、保護者の方々に道路事業による自然環境保全の取り組みについて理解を深めて頂くことが出来ました。



アカハライモリの捕獲作業



アカハライモリの放流作業



池に設置する看板作り



有識者による生きもの観察会
(やまなし淡水生物研究会 窪田顧問)

参加者の声（アンケートで頂いた意見）

小学生



- ・アカハライモリがたくさんいてびっくりした。
- ・イモリの数が少なくなっていることがわかった。
- ・イモリをつかまえるのがたのしかった。
- ・おうぼしてよかったとおもいました。とてもたのしかった。

保護者等



- ・自然環境を考えて、工事を施工していることを、親子で教えていただきました。
- ・環境保全の取り組みを今後共、配慮して頑張っていたきたいです。
- ・生き物を大切にすることを学ぶ事ができた。子供たちをあきさせない工夫も良いと思います。池への通路整備、準備等、大変だったと思います。安全対策ありがとうございました。
- ・地域と道路作りと環境の専門の方達が1つとなった中に子供たちが伸び伸びと参加していて、安全で安心して過ごせました。
- ・地元の意見を取り入れながら早期の完成を期待します。
- ・静岡と山梨の行き来が早くなるので嬉しいです。楽しみにしています。
- ・工事現場も見学したいです。

やまなし淡水生物研究会 窪田顧問から頂いたコメント

・現在、日本中で多くの生き物たちが減少しています。その原因の多くは生息地の開発によるものですが、今回のように事前に準備をして、みんなで手助けをすることで沢山の命を助けることもできます。

一番大切なのは、まず、自分たちの身の回りにどんな生き物が生活しているか知り、その生き物達が絶えることなく生き続けられる環境を維持することです。そのためには、私達もちょっとした手助けをすることも必要になります。

来年の春には新しい池でモリアオガエルやアカハライモリの子供たちが見られると思います。子供たちと共に見守っていきましょう。